



Press Release

Add value.
Inspire trust.

ISO 14067 Annex C に基づき妥当性確認 (Validation) を実施

2026.06.18

テュフズード、出光興産の製品カーボンフットプリント算定の仕組みに対し 妥当性確認声明書を発行

Tokyo/Japan. 国際的な第三者認証機関であるテュフズード(本部:ドイツ・ミュンヘン)は、出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:酒井 則明)の製品カーボンフットプリント算定・報告の体系的アプローチに対して、ISO 14067 Annex C に基づく妥当性確認を実施し、その適合性を示す妥当性確認声明書を発行しました。



ISO 14067 は製品カーボンフットプリント(CFP)の算定および報告に関する国際規格であり、企業の脱炭素化やサステナブルな購買判断を促進することを目的としています。その附属書 Annex C では、複数製品に適用可能な算定・報告プロセスを、体系的に設計・運用するためのフレームワークが示されています。たとえば同じ製品群で多くの製品型番が存在する場合などは、ISO 14067 Annex C に沿ったプロセスを設計・適用することで、手順の標準化と実業務の効率化が図られます。

このたびテュフズードは、出光興産の潤滑油製品を対象とした CFP 算定・報告の体系的アプローチに対して妥当性確認(Validation)を実施しました。その結果、当該アプローチが ISO 14067 Annex C に沿って、製品の部分的カーボンフットプリント(cradle-to-gate)を算定・報告するための適切な手順として構築・運用されていることを確認し、妥当性確認声明書(Validation Opinion)を発行しました。

本取り組みにより、出光興産は製品カーボンフットプリントのデータを提供する際、ステークホルダーに対して信頼性の高い説明が可能になります。また本件は化学・潤滑剤業界における ISO 14067 システムティックアプローチ¹の第三者検証の先行事例であり、サプライチェーン全体の脱炭素化や環境情報開示の高度化を促進することも期待されます。

テュフズードジャパンは今後も、国際的な第三者認証機関の日本法人として、国内企業の脱炭素経営および環境情報開示の信頼性向上に貢献していきます。

テュフズードジャパンのサステナビリティ関連サービス詳細はこちら: <https://www.tuvsud.com/ja-jp/themes/corporate-sustainability>

写真左から: 出光興産株式会社 執行役員 潤滑油一部長 井上享一氏、テュフズードジャパン株式会社 代表取締役社長 アンドレア・コシャ

お問い合わせ:

テュフズードジャパン株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 12F	マーケティング部 伊藤 麻里 Email Marketing.jp@tuvsud.com Internet tuvsud.com/ja-jp/global-newsroom
--	---

テュフズードジャパンについて

150年以上の歴史を持つ国際的な第三者認証機関テュフズードの日本法人として1993年に設立。試験、認証、監査、トレーニングサービスを通じて、医療機器、産業機器、民生機器、自動車、食品、化学、エネルギーなど幅広い分野における企業とその製品の安全性を高め、海外展開を支えています。近年はサイバーセキュリティ、サステナビリティ、AI関連サービスにも注力。 <https://www.tuvsud.com/ja-jp>

テュフズードについて

1866年に蒸気ボイラーの技術検査協会として設立されたテュフズードグループは、グローバル企業へと進化しました。テクノロジー、システム、専門的なナレッジを常に向上させるために、約50か国に1,000以上の拠点を置き、30,000以上の従業員が活動しており、インダストリー4.0、自動運転、再生可能エネルギーなどの技術革新の安全性、信頼性に大きく貢献しています。 [tuvsud.com](https://www.tuvsud.com)

¹ ISO 14067 システムティックアプローチとは、ISO 14067 Annex C に規定された、複数製品に共通のルールでCFP算定・報告を一貫して行うための手法です。